

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価									
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等の商工会職員が一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談への指導を行うことにより、企業の経営及び技術の改善が図られ、健全な企業が育成される。このほか、創業も対象とした経営全般に係る相談窓口の設置によって経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 276社 ・巡回窓口指導延件数 708件 ・課題解決提案件数 18件 ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 141.6 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 90.0 %)			経営基盤の弱い小規模事業者を中心に経営全般に係る様々な相談への指導を行うことにより、企業の経営及び技術の改善が図られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	経済動向の影響を受けやすい小規模事業者の経営環境は変化しやすい為、これまで通り伴走型の支援を以て他事業と連携し展開してゆく。
				目標数値	500	実績数値	708	目標数値	20	実績数値	18					A		A		現状維持	
記帳継続指導	商工会の職員が小規模事業者を対象に記帳方法の指導を行うことにより、適正な経理処理や決算、確定申告ができるようになるほか、自計化により経営内容が把握でき、経営力の向上にも結び付ける。	・指導対象者数 97人 ・指導延日数 418日 ・指導延回数 1,141回 ・確定申告受付件数 182件	小規模事業者	指標	記帳指導対象者数 (達成度 107.8 %)			指標	確定申告受付件数 (達成度 121.3 %)			小規模事業者の適切な経理事務を支援する事で、適正な自計化処理の習得が可能となり、自社の現状を正確に把握する事で経営力強化に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者自身が常にタイムリーな経営状態を把握できるように適正かつ迅速な経理処理能力の向上を図る。
				目標数値	90	実績数値	97	目標数値	150	実績数値	182					A		A		現状維持	
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 12回 受講者105人 内小規模事業者 64人 (内、経営革新 1回 3人) ・個別 17回 受講者58人 内小規模事業者 56人 計 29回 163人 内小規模事業者 120人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 74.1 %)			指標	(達成度 %)			小規模事業者に対し金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得周知したことで、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図られた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者の経営に資する施策等の習得の機会として、伴走型支援と連携させて実施してゆく。
				目標数値	162	実績数値	120	目標数値		実績数値						B		A		現状維持	
若手後継者等育成事業	幸田町の商工業は大企業等に牽引され発展し、地域の職住環境が整備されてきたが、小規模事業者がこうした経済環境において持続的発展を図るためには、経営力強化および地域的な連携による新たな魅力創出が不可欠である為、若手後継者等の育成を目的に、自社および地域経済の発展に資する知識習得および意識醸成の機会として本事業を実施する。	(1)若手後継者リーダーセミナーへの参加(2回) ・参加人数 各3名 (2)IT活用販路開拓促進支援事業の開催(2回開催) ・参加人数 35名	小規模事業者	指標	リーダーセミナー参加人数 (達成度 100.0 %)			指標	販路開拓支援事業参加人数 (達成度 58.3 %)			地域のリーダーとしての意識情勢が図られ、また、SNSを活用する手法を学び情報発信のノウハウを習得したことで販路開拓等に資する有益な事業となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	経営者としての資質向上を図り、地域の良き模範となる人材を育成する事業として継続的に実施する。
				目標数値	6	実績数値	6	目標数値	60	実績数値	35					B		A		現状維持	
部会事業	商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報の交換を行うことにより、それぞれの業種及び事業において改善を図る。	商業部会・工業部会合同視察研修を実施 11月10日 14人 1月24日 22人 計 2回 36人	商工会員	指標	部会視察研修会参加数 (達成度 72.0 %)			指標	(達成度 %)			商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報交換により、それぞれの事業に有益な意見を養うことが出来た。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	時勢に相応した視察場所や意見交換の場所を提供し、商業部会・工業部会それぞれの運営体制を強化して、必要に応じて連携し実施する。
				目標数値	50	実績数値	36	目標数値		実績数値						B		A		現状維持	
地域振興産業祭事業	幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行い、地域商店及び地域産業の振興・活性化を図る。	「産業まつり」の会場となる幸田町民会館の周辺において、8事業所が出展し、展示及び即売会を行った。 ・商工会関係出展者 8事業者	商工業者	指標	商工会関係出展者数 (達成度 80.0 %)			指標	(達成度 %)			幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行ったことで、地域商店及び地域産業の振興・活性化に繋がる機会となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	幸田町との連携を密にして、地域商店、地域産業の情報発信の機会として実施する。
				目標数値	10	実績数値	8	目標数値		実績数値						B		A		現状維持	
観光振興事業	行政、地域諸団体、住民組織等が協調して「彦左まつり」を開催し、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与する。	彦左まつり(7月30日土曜日幸田駅前沿道にて開催) ・仮装行列等 1,300人参加 ・各種団体の屋台出店 ・来場者数 30,000人	参加団体及び駅前地区商業者	指標	来場者数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			行政、地域諸団体、住民組織等が協調し開催したことで「彦左まつり」の認知度が向上し、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に資する機会となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	行政、地域諸団体、住民組織等と協調し開催し、「彦左まつり」を、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に資する祭りとして認知度向上を図る。
				目標数値	30,000	実績数値	30,000	目標数値		実績数値						A		A		現状維持	
商店街振興事業	平成元年に商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理及び経理事務を実施する。	年2回電灯料および組合費の集金のほか、球切れ、故障等への対応 ・街路灯維持管理本数(79本)	商工業者	指標	街路灯維持・管理本数 (達成度 79.0 %)			指標	(達成度 %)			街路灯の維持・管理を行うことで商店街のイメージが保たれ、また防犯にも貢献できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	継続的に街路灯の維持・管理に努め、商店街のイメージ向上と同時に防犯に資する事業として実施する。
				目標数値	100	実績数値	79	目標数値		実績数値						A		A		現状維持	
産業活性化事業	地域商店のPR活動、ポイントカード事業及びイベント事業の実施により、地域商店の発展を支援する。	・ポイントカード事業の実施(スタンプ回収数冊 2,317冊) ・イベント事業(お祭り)の実施 ・加盟店 28店	商業者	指標	スタンプ回収冊数 (達成度 77.2 %)			指標	(達成度 %)			夏、冬のイベント開催により、消費者に対してスタンプの収集を促し、満点カードの改修に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	消費者に対する加盟店舗の周知を強化すると共に、加盟店の新規勧誘を継続的に行いスタンプ会の組織強化を図る。
				目標数値	3,000	実績数値	2,317	目標数値		実績数値						B		A		現状維持	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					
雇用促進事業	中小企業の永年勤続従業員の功績を称えるとともに、今後のさらなる能力向上を期待して、従業員の表彰事業を行う。	通常総代会時にて、勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を授与した。 ・表彰者数 16人	中小企業に勤務する従業員	指標 受賞者数 (達成度 106.7 %)	指標 (達成度 %)	得られた効果 中小企業の永年勤続従業員の功績を称えたことで、従業員満足度を向上させ、今後のさらなる能力向上を期待できる。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	通常総代会時にて、勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を表彰する。				
労働保険事業	商工会が労働保険事務等を代行することにより、小規模事業者の事務処理を軽減するとともに、労働保険制度の適用促進、保険料の適正徴収を図る。	労働保険料の申告、労働保険料の徴収及び納付、労働保険の諸手続き、労災保険特別加入の申請、雇用保険資格得喪失手続きの代行等を行った。 ・新規委託事業所獲得 10事業所	中小企業等	指標 新規委託事業所獲得 (達成度 200.0 %)	指標 (達成度 %)	煩雑な労働保険事務を代行する事で、小規模事業者等は自らの事業に専念する時間を確保出来、同時に雇用環境の整備・向上に等に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	雇用環境の整備・向上により、人材育成および確保といった観点から、より多くの小規模事業者に対し制度の普及・推進を図ってゆく。				
青年部・女性部事業	イベントへの参加や奉仕活動などを通じて、町民とのふれあい、地域との関わりを持つことにより地域社会の発展に寄与する。また、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図る為の講習会・研修会・視察等を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。	部員増強活動、商工会・行政主催のイベントへの参加、奉仕活動、他商工会青年部との交流、部員間の交流事業、部員の資質向上を図るための研修会の実施 ・新入部員加入数 青年部0人、女性部1人	青年部・女性部部員	指標 青年部新入部員加入数 (達成度 0.0 %)	指標 女性部新入部員加入数 (達成度 33.3 %)	地域イベント、親睦会を開催する事により部員相互の交流を促し、組織基盤の強化に繋がった。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 C 目標達成度 D	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	社会貢献活動の一環として地域に資する事業として、より多くの参加が可能となる仕組みを構築する。				
福利厚生事業	中小企業共済制度、愛知火災共済、特定退職金共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等の普及推進を行うことにより、中小企業者の福利厚生の増進及び経営の改善に寄与する。	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得の為普及推進に努めた。 中小企業共済 27件 小規模企業共済 15件 倒産防止共済 1件 特定退職金共済 12件 愛知火災共済 1件	商工業者	指標 新規・増口加入数 (達成度 186.7 %)	指標 (達成度 %)	各種共済を推進したことで小規模事業者の福利環境整備に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得の為普及推進に全職員が努める。				
福利厚生事業(ボウリング大会)	会員事業所の従業員等を対象にスポーツ大会を実施し、相互間の親睦融和を図るとともに、従業員等の健康管理と雇用の維持に寄与する。	ボウリング大会 年1回 参加者数52人	会員事業所・従業員等	指標 ボウリング大会参加人数 (達成度 74.3 %)	指標 (達成度 %)	会員事業所の従業員等を対象に実施したことで、相互の親睦融和を図るとともに、従業員等の健康増進に寄与できた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 C	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	会員事業所の従業員等を対象に実施し、従業員満足度と健康増進を図る事業として実施する。				
税務関係団体指導事業(法人会・青色申告会)	中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ることで、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与する。	・研修会・講習会等の開催 ・視察研修会 2回 ・新規会員数 5事業所	商工業者	指標 新規会員数 (達成度 33.3 %)	指標 (達成度 %)	中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ることで、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与できた。	総合評価	C	事業実施評価 自己評価 C 目標達成度 D	事業者への調査結果 満足度 B 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	健全な納税意識の醸成を図り、申告納税制度の適正化に寄与することで、企業の社会貢献に資する事業とする。				
産業団体指導事業	各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環として経営に関するノウハウの情報交換を通して経営環境の整備と向上に資する活動を行うとともに地域の活性化を図る。	講習会開催回数 6回、参加者数 93人 額田郡建設業組合 2回41人 岡崎労働基準協会 3回45人 異業種交流事業 1回 7人	小規模建設事業者	指標 講習会参加人数 (達成度 124.0 %)	指標 (達成度 %)	各種産業団体に対して、経営に関する講習会や情報交換を行ったことで、産業団体の経営環境の整備に資する活動となった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環とした集団指導を継続的にを行い、地域産業の振興を図る。				
健康普及事業	中小企業、小規模企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、事業主及び従業員の健康診断事業を実施する。	年1回 毎年1月下旬 開催 ・事業参加者 105名	小規模事業者	指標 事業の参加者 (達成度 116.7 %)	指標 (達成度 %)	目標より15名増の受診者数を達成したことから、前年以上に中小企業、小規模企業の雇用の安定に資する事業となった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	労働力不足が懸念される情勢下において雇用安定化に資する当該事業を周知し、より多くの受診者を確保できる体制を整備する。				
商談会事業	幸田町内商工業者の事業拡大の一助として、商談会・情報交換会を開催することにより、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化を図る。	1月中旬に幸田町民会館にて親睦会を兼ねた商談会・情報交換会を実施 ・参加者数 84名	商工会員	指標 名刺交換会参加人数 (達成度 93.3 %)	指標 (達成度 %)	幸田町内商工業者間で商談・情報交換を行った事で、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化に繋がる機会となった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	幸田町内商工業者と地域経済の活性化を図る機会として、より多くの参加者が参加できるよう配慮しながら開催する。				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。